

慈生会の理念

慈しみの心と、
真心の医療。

- 一、すべての人の人生を平等に大切に考えます。
- 一、私達はどんなときにも患った人々に笑顔と優しい言葉で接します。
- 一、私達は健康に良い美しい環境造りに努めます。
- 一、私達は地域との連携を図り、患者様の社会生活を支えます。
- 一、新しい医療・介護の知識・技術の習得に努め、日常の業務に反映します。
- 一、笑顔で働きがいのある職場作りに努めます。

気象病とは？

◎気象病って、どんな病気？

気象病は、主に天気の変化で起こる体に不調を与える病気の総称です。

◎気象病の原因は、なに？

気象病の原因は、気圧、気温、湿度変化です。その中でも特に影響が大きいとされているのは、気圧です。台風や長雨の季節には、注意が必要です。

◎気象病の症状は、

自律神経が乱れがちな方に多い、めまい、肩こり、イライラなどの不安愁訴です。検査しても原因が見つかりにくいのも気象病の特徴です。頭痛や関節痛、腰痛など、持病が悪化するなど、これら痛みを伴う症状は、「天気痛」と呼ばれています。

◎気象病の予防法「くるくる耳マッサージ」

1. 耳を軽くつまみ、上・下・横 それぞれ 5 秒ずつ引っ張ります。



2. 次に軽く引っ張りながらうしろに向かって 5 回ゆっくり回します。



3. その後、耳を包むように折り曲げて5秒間キープします。



4. 最後に耳全体を手のひらでゆっくり円を描くようにうしろに向かって5回マッサージします。



◎「くるくる耳マッサージ」のルール

- ・1日3回、朝、昼、夜行います。
- ・マッサージ期間は2週間程度にします。
- ・それ以外は、普段通りの生活を送ります。

◎マッサージを行っても、体調がすぐれない場合は市販の痛み止めを服用する前に、必ず医療機関を受診して下さい。



バイオリン演奏会



♪8月28日月曜日3階で“アンサンブル きらら”様による演奏会を行いました。“きらら”のグループ名は、「いくつになってもきらきらしていよう」という思いで付けられたそうです。お見えになった方たちは、バイオリン歴などに差がありますが、それらを感じさせない演奏でした。



★「夏の思い出」「赤とんぼ」等の唱歌から始まり、歌謡曲の「星影のワルツ」「川の流れるように」等々、歌詞を御存じの方々は曲を口ずさみ、合唱となりました。「浜辺の歌」は、患者様から「小さい頃の浜風を感じた」と述べられ、また、アンコールで演奏して頂いた「ふるさと」は、全員で大合唱となりました。 🎵🎵🎵🎵🎵





秋の音楽会



♥9月13日水曜日3階で「中川しのぶ先生とコール川口」の皆様がお見えになり「どんぐりころころ」「村まつり」「ふるさと」等々、参加者全員で歌いました。中川先生は、「青い山脈」「高原列車」を独唱で美しい声を披露して下さいました。



◎秋が少しずつ深まっていることを「歌で皆様にお届けできた」という中川先生のメッセージどおり、たつぷりと堪能できた20曲でした。患者様やご家族方の笑顔と歌声にスタッフもほっこりとした1日でした。「コール川口」様は、今年7月に45周年をお迎えになりました。



★慈生会 訪問看護ステーション「とまと」のご案内です。病気やけがなどで療養さ



れている方のお宅に看護師がお伺いし、看護のサービスを行い、住み慣れた自宅で安心して療養生活が送れるよう、ご利用者の意思を尊重して支援します。安定した自宅療養を望まれる方、通院が困難な方は、訪問看護のご利用をご検討下さい。ご利用方法：まずは主治医（かかりつけ医）・ケアマネジャーへご相談下さい。

～お知らせ～

☆予防接種は、予約制となっております。

☆健康診断は随時。

☆前原病院人間ドックは、ご希望に合わせてメニューを組むことができますので、ご相談下さい。

☆特定健康診査、乳癌検診、福山市がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん)実施医療機関です。

前原病院 の概要

1日平均外来患者数：44人

1日平均入院患者数：療養病床 40人、緩和ケア病床 10人

平均入院日数：療養病棟 140日、緩和ケア病棟 26日

平成29年
8月現在

内科・胃腸科・放射線科・緩和ケア内科・リハビリテーション科
慈生会 前原病院

※福山市手城町一丁目 3-41 TEL(084) 925-1086 FAX(084) 923-4504

診療受付時間

午前 8:30～12:30 / 午後 14:30～17:30
※木・土曜日午後、日曜日、祝祭日は、休診です。



＜バスでお越しの方＞

中国バス：鋼管方面行き

バス停「千間土手西」下車、南へ徒歩3分

＜車でお越しの方＞

国道2号線を岡山方面へ進み、

「千間土手西」交差点を右折

☆多編集部後記☆多

「中秋の名月」は年12～13回昇る満月の中でもなぜ特別扱いなのでしょう？それは1年の中で最も空が澄み渡る時期で、月が明るく美しいとされているからです。 広報誌編集部一同

